



鶴田町長  
相川 正光

# 年頭にあたって

謹んで新年のお祝いを申し上げます。皆さまには、すがすがしい新春をお迎えのことと心からお慶び申し上げます。

昨年を振り返りますと、新型コロナウイルス感染症を始めとする、深刻な国際情勢や急速な円安進行に伴う経済の低迷、物価高騰、自然災害など不安なニュースが多い一年でありました。

当町におきましても、8月の記録的な豪雨とその後の断続的な降雨により、一部道路は冠水し通行止めになったほか、住家への床上・床下浸水などにより、避難所へは519名の方が避難を余儀なくされました。河川敷内のリンゴ園地では、ほぼ全域で樹冠浸水が確認され、堤内地においても多くの水田や畑が浸水するなど、農業被害は多大なものであり、被害を受けた皆さまには心よりお見舞い申し上げます。また、町消防団の懸命な水防活動には、大変感謝いたしております。町では被害を受けた方へ「建物被害支援金」、「被災農家支援金」、「収入減少農

家各種税・保険料減免」、「固定資産税減免」、「上下水道料金減免」の支援措置を講じてまいりました。さらには、個人や団体、ふるさと納税による災害支援寄付金といった全国各地からの支援をいただきましたことに、改めて深く感謝を申し上げます。

新型コロナウイルス感染症は、全国的に依然として感染の波が繰り返されており、そのような中、3年ぶりにゴールデンウィークやお盆の時期に行動制限がなかったことや、外国人観光客の入境制限の緩和などにより、町の観光拠点である「鶴の舞橋」や、道の駅つるた「鶴の里あるじや」については、観光客が戻りつつあります。また、テレビ番組でも町がたびたび取り上げられるなど、多くの方に鶴田町を知っていただく機会が増えて参りました。今後さらにも多くの方に町の魅力を知っていただき、観光客に訪れていただくため、積極的に情報発信を行い、引き続き新型コロナウイルス感染症拡大防止を徹底しながら、経済

活動の回復に努めて参ります。

町の基幹産業である農業でありますが、水稲は大雨被害の影響により、「やや不良」となりましたが、青森県「攻めの農林水産業」本部主催の「あおもりの旨い米グランプリ」個人の部において、当町の生産者がグランプリに輝くなど、明るい話題もありました。また、JAの概算金につきましては、特A品種「青天の霹靂」が2021年と同額であり、主力品種の「つがるロマン」、「まつしぐら」は、ともに引き上げとなっております。

リンゴにつきましては、大雨被害による減収がありました。一般的に大玉傾向で、輸出が好調なことから、価格も高値傾向となっております。

スチューベンにつきましては、霜や病害、大雨被害により収穫量が減少したものの、非常に色づきが良く、食味良好であるとのこと。今後さらなる町の特産品として期待しているところであります。

農業を取り巻く環境は、高齢化、人口減少による担い手不足だけではなく、近年の多発している自然災害や、物価・燃料費の高騰など、様々な要因により、依然として厳しい状況が続いております。より農業所得の向上が図られるよう、国や県へ働きかけるとともに、町といたしましても支援して参ります。

昨年4月には「過疎地域の持続的発展の支援に関する特別措置法」の施行に伴い、過疎地域の指定を受けました。過疎地域の指定を受けると、さまざまな財政面の優遇措置が受けられます。その優遇措置を最大限活用し、過疎地域における持続可能な地域社会の形成及び地域資源等を活用した地域活力の向上に取り組んで参ります。

今年3月末をもちまして、青森県立鶴田高等学校が創立71年の長い歴史に幕を下ろします。

町のまつりへの参加や、鶴の舞橋写真コンテストなど、地域に根ざした活動をしていただいたほ

か、国際交流の町にふさわしく、国際教養コースといった特色ある教育活動に取り組んでこられたことに心から感謝を申し上げます。4月以降は、現敷地へ五所川原商業高校（下山学園）の移転が予定されております。五所川原商業高校には町の振興や国際交流の分野についても期待しているところであり、町といたしましては、同校と連携を図りながら支援していく所存であります。

町では、今年の3月を目標に、第6次総合計画の策定を進めております。常に変わりゆく社会情勢に注視しながら、町民の皆さまの健康で住みよいまちを実現するため、様々な施策について誠心誠意取り組んでまいりますので、今後とも町政運営に対し、ご理解とご協力を賜りますようお願い申し上げます。

結びに、本年も皆さまにとりまして健やかで幸多い年でありませうとお祈り申し上げます。新年のごあいさつといたします。



鶴田町議会議長  
北谷 正則

# 新年を迎えて

明けましておめでとうございませう。令和5年の年頭にあたり、町議会を代表して謹んで新年のご挨拶を申し上げます。

町民の皆さまには、輝かしい新春を健やかに迎えのことと心からお慶び申し上げますとともに、日頃より町議会に対しまして多大なるご理解とご協力を賜り、厚くお礼申し上げます。

昨年を振り返ってみますと、ロシアによるウクライナ侵攻に伴う原材料価格の上昇や円安の影響などにより、燃料や食料品等の価格上昇が続ぎ、皆さまの家計においても大きな負担を強いられましたものと思えます。国では、「物価高・円安への対応」、「構造的な賃上げ」、「成長のための投資と改革」を重点分野とした総合経済対策を進めておりますので、物価上昇をカバーする賃上げの実現と家計負担の軽減を期待するところであります。

新型コロナウイルス感染症については、感染拡大の波が繰り返され、町で開催されるイベントの一部が中止や規模縮小となるなど、

皆さまには寂しい思いをされたことと存じます。新型コロナウイルスの影響を受ける宿泊、交通、飲食などの関連業種においても、引き続き厳しい経営を強いられた一年でありました。季節性インフルエンザとの同時流行が懸念される中、未だコロナ終息は見通せない状況でありますので、今後も感染予防対策として適時適切なワクチン接種の推進とコロナ禍からの町内経済の回復を目指し、議会と町政が一体となって、すべての町民がより幸せな生活をいとむことができるよう努力してまいります。町民の皆さまにおいては、引き続き基本的な感染予防に努めていただきませう改めてお願いいたします。

また、当町においては昨年8月の大雨により、町内全域に避難指示が発令され、町が開設した5箇所の避難所に避難を余儀なくされた方もおられました。岩木川の氾濫は免れたものの、町内の一部道路が冠水したほか、建物や農地が浸水するなど、大きな被害に見舞われました。被害を受けられた皆様には、改めてお見舞いを申し上げますとともに、水防活動にご尽力された消防団の皆さまには深く感謝いたします。近年、全国的に頻発する自然災害に備え、避難施設の環境整備や防災資機材の整備など、議会としても、引き続き防災対策の強化に努めてまいります。

町の基幹産業である農業ですが、コメについては、県全体の作況指数は99で「平年並み」となりましたが、津軽地域では8月の大雨によるほ場の冠水被害などの影響により作況指数97で12年ぶりの「やや不良」となりました。コメの消費低迷で作付面積の減少が続く中、主食用米の収穫量は過去最少となる見込みで、コロナ禍における過剰在庫の解消もあり、価格は3年ぶりに上昇すると予想されており、つがるに起きた農協におけるコメの生産者概算金は、「つがるロマン」が9,500円、「まつしぐら」が9,300円で、令和3年産米よりも1,300円の引上げとなっております。

リンゴについては、気温が高く雨量も多かったことから全般的に大玉傾向で、大雨被害による減収があつたものの、前年産を上回る平年並みの収穫量を確保できる見通しとなっており、価格は平年より高値となっているところです。

スチューベンについては、春先の霜や大雨被害で収穫量が減少しましたが、非常に色づきがよく、食味も良好と聞いております。

農業の現場では、少子高齢化や離農による担い手不足と生産者の高齢化が長年問題となっておりますが、8月の大雨被害に加え、肥料や農業資材の価格高騰も農家に打撃を与えていることから、農家の生産意欲向上につながるような支援策を要望してまいります。

産業経済においては、町の観光名所「鶴の舞橋」、道の駅「あるじや」や富士見湖パーク内「ここにもあるじや」にも徐々に人出が戻り賑わいをみせてきておりますが、「鶴の舞橋」は老朽化に伴う大規模改修工事が今年から3年間予定されております。工事期間中の9月から12月の間は「鶴の舞橋」が通行止めとなることから、観光客の減少も予想されますので、新たな誘客対策に取り組むなど町の

観光拠点としての役割を果たし、地域活性化の一助となるよう期待しております。

教育においては、令和5年3月で閉校となる県立鶴田高校の跡地を五所川原商業高校が利用する予定となっておりますので、町と連携した教育環境の充実や町経済の振興に寄与するような支援策を必要に応じ協議しながら、議会としても提言できるよう努めてまいります。

町議会としては、議会で行われるほとんどの会議でタブレット端末を利用したペーパーレス化を推進するなど、住民の代表機関である議会自らが議会改革に積極的に取り組んでおります。今後とも、行政への監視機能を十分發揮しながら、町民の皆さまの意思を町政に反映させる重要な役割を果たすため、議員一同全力で取り組んでまいります。

結びにあたり、本年が町民の皆さまにとりまして健やかで笑顔が絶えない年でありますようお願い申し上げます。新年のあいさついたします。